

令和7年度 学校評価計画書



珠洲市立上戸小学校

上戸小学校の教育方針（グランドデザイン）



学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく生きる「上戸っ子」の育成

めざす児童像

- ◎「まなぶ子」 ⇒ 意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童【知】
- ◎「やさしい子」 ⇒ きまりを守り、礼儀正しく思いやりのある児童【徳】
- ◎「けんこうな子」 ⇒ 心身ともに健康で、命を大切にする児童【体】

めざす学校像

- ・安全・安心で、児童・保護者・地域から信頼される学校
- ・確かな学力、健やかでたくましい心と体を育む学校
- ・地域と連携し、子供達が様々な体験を通してたくましく成長できる学校（学校運営協議会）

めざす教師像

- ・子どものよさや可能性を見出し、伸ばすことができる教師
- ・子どもや保護者の立場に立って親身になって考え行動し、信頼される教師
- ・働き方改革・業務改善を意識し、自ら学び続ける教師

「笑顔あふれる学校」

- *児童にとっての笑顔：自らの成長を感じたとき、居場所のある学校
- *教師にとっての笑顔：児童の成長を感じたとき、教師としてのやりがいを感じたとき
- *保護者にとっての笑顔：子どもの成長を感じたとき、安全・安心な学校
- *地域にとっての笑顔：学校との結びつきを感じたとき、いきいきとした子どもの姿を見たとき

学びづくり

＜主体的、対話的で深い学び＞
「個別最適な学びと協働的な学び」
「児童に委ね、試行錯誤し失敗から学ぶ授業」
「ICT 機器の技能向上(児童・職員)」

＜基礎基本＞
「音読」「漢字」「計算」「ローマ字(入力)」「読書活動」
「少人数を生かした指導」

＜表現力育成＞
「集会活動」
「テーマ作文」

心づくり

＜心のケア＞
「相談できる体制」

＜居場所のある学校＞
「互いの良さ」
「自己肯定感向上」
「いじめ・不登校の対応」

＜人間関係構築＞
「縦割班活動」
「リーダー力育成」
「ゴールデンタイム」

＜道徳・人権＞
「地域 GT 活用」
「道徳授業公開」

＜特別支援教育＞
「関係機関連携」
「個に応じた手立」

＜キャリア教育＞
「キャリア・パスポート活用」

体づくり

＜体力向上＞
「運動が好きになる体育の授業」
「目標を設定して」(スポチャレ)
「持久走大会」

＜健康教育＞
「早寝、早起き、朝ごはん」
「生活リズム」
「ステップカード」
「食育」

＜安全教育＞
「避難訓練」
「情報モラル」

絆づくり

＜「絆」づくり＞
「朗生会との交流」(干し柿づくり等)
「他校等との交流」

＜ふるさと学習＞
「里山里山学習」
「SDGs学習」
「生き物観察会」
「大納言小豆」

＜地域・公民館交流＞
「大浜大豆味噌」
「オンノキバ」

＜小中連携＞
「家庭学習週間」
「授業参観」

開かれた学校

＜地域連携＞
「すこやか教室」

＜情報発信＞
「学校 HP」
「学級だより」
「学校だより」等

＜教職員育成＞
「働き方改革」
「ワークライフ・バランス」
「服務規律順守」
「危機管理」

＜組織的運営＞
「人材育成」
「カリキュラム・マネジメント」
「学校評価活用」

社会に開かれた教育課程

学校評価計画

1. 学校評価の目的

- ①本校の教育活動や学校運営について具体的目標を設定し、その達成状況や取組の適切さ等について評価を行う。
- ②評価を通して、組織的・継続的な改善と発展を図り、教育の質の向上をめざす。
- ③保護者や地域住民の理解と参画を得ることで、学校・家庭・地域が連携し、開かれた学校づくりを推進する。

2. 評価方法

- ①学校職員対象の内部評価や保護者・児童を対象とする外部アンケートを年2回実施して、より客観的な自己評価を行う。
- ②学校の取組状況を学校だよりやHP、授業参観等で積極的に公開する。
- ③自己評価結果を学校関係者評価委員に示し、学校関係者評価を行う。
- ④評価結果については、公表できるものは学校だよりやHP等で公開する。併せて珠洲市教育委員会へも報告する。

3. 学校評価計画

月	行 事	学校職員	学校関係者評価
4	入学式 守る会対面式 授業参観・PTA 総会	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価計画の作成 評価項目、指標等の検討 学校評価計画の周知 	
5		◆具体的取組の推進	学校運営協議会①（5/1）
6	授業参観		
7	通知表渡し	<ul style="list-style-type: none"> 児童、保護者、教師アンケートの実施（中旬） 	
8		<ul style="list-style-type: none"> 評価結果集計分析、改善策検討 自己評価（中間評価） 	
9	運動会	<ul style="list-style-type: none"> 中間評価結果公開 報告書作成、設置者へ報告 	学校運営協議会②
10	持久走大会 1～4年バス遠足 5・6年修学旅行	◆改善策の実践	
11	学校公開 授業参観・教養講座		
12	なわとび集会 通知表渡し	<ul style="list-style-type: none"> 児童、保護者、教師アンケートの実施（中旬） 	
1	百人一首大会 授業参観・入学説明会（6年） スキー・そり遠足 （1～6年）	<ul style="list-style-type: none"> 評価結果集計分析、改善策検討 自己評価（最終評価） 	学校運営協議会③
2	6年生を送る会	<ul style="list-style-type: none"> 最終評価結果公開 	
3	卒業式	<ul style="list-style-type: none"> 報告書作成、設置者へ報告 	

重点 目標	自己評価					備考
	評価項目	具体的取組	評価指標	評価：達成度判断基準	取組の状況・結果	
学びづくり	総合的な学 力の向上	・学力調査の結果を分析して定 着していない内容を授業や朝 学習での補充 ・授業での学んだ知識や言語力 を活用して思考、判断し表現 する活動場面を設定 ・国語検定、算数検定の実施	【成果指標】 各種・学力調査の結果 が県及び国の平均を上 回っている。	全国学力学習状況調査・県基礎学 力調査の結果が県平均・市学力調 査の結果が全国平均を上回ってい る教科が全体の A: 80%以上 B: 75%以上 C: 50%以上 D: 50%未満		主担当：中村 評価方法： 学力調査 評価実施時期： 8月，1月
	学力向上プ ランの推進	・授業でリレートークによる対話 場面の設定 ・話し方、聞き方を各学級の実 態に応じた指導	【成果指標】 相手の話をしっかり聞 いたり自分の考えを伝 えたりすることができ る力が児童に身に付い ている。	学習アンケートで「みんなに聞こえ る声で考えを伝える」という項目で 肯定的な回答をした児童の割合が A: 95%以上 B: 85%以上 C: 75%以上 D: 75%未満		主担当：中村 評価方法： 児童に対する学 習アンケート 評価実施時期： 7月，1月
	GIGA スク ール構想の推 進	・週に一度、タイピングの技能を 計測する時間の設定 ・まとめ学習や家庭学習等で、 積極的なクロームブック活用 ・3年生以上でのローマ字の定 着	【成果指標】 児童にタイピングの技 能が身に付いている。	タイピングのアプリを活用する。5分 間で入力できる文字数の平均(3～ 6年)が A: 390文字以上 B: 360文字以上 C: 330文字以上 D: 330文字未満		主担当：辻・松 本 評価方法：タイピ ングアプリ 評価実施時期： 7月，1月
	明るい挨拶 で笑顔があ ふれる学校 づくり	・生活目標に挨拶に関する目標 を設定による挨拶の習慣の定 着 ・「あいさつ4つのコツ」を学級で 指導し意識化	【満足度指標】 児童がすすんで挨拶 する習慣が身に付いて いる。	児童アンケートで「挨拶は、明るく、 いつでも・どこでも・だれにでも、先 にしている。」という項目で強肯定 な回答をした児童の割合が A: 児童の90%以上 B: 児童の80%以上 C: 児童の70%以上 D: 児童の70%未満		主担当：辻 評価方法： 児童アンケート 評価実施時期： 7月，1月
学びづくり	児童が相談 できる体制 の構築	・スクールカウンセラーの個人面 談の実施 ・担任との個人面談の定期的実 施	【努力指標】 児童が相談できる機会 を設けている。	月1回以上児童との面談を行った クラスが A: 3学級 B: 2学級 C: 1学級 D: 0学級未満		主担当：辻 評価方法：担任 からの報告等 評価実施時期： 7月，1月

重点 目標	自己評価					備考
	評価項目	具体的取り組み	評価指標	評価：達成度判断基準	取組の状況・結果	
体づくり	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の体育授業での3分間走の導入 ゴールデンタイム等を通した、授業以外の時間にも、積極的に体を動かす状況づくり 	【成果指標】 体力テストで数値の低かった項目「20mシャトルラン」が県平均を上回っている。	「20mシャトルラン」において、県平均を突破した児童の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満		主担当:松本 評価方法: 20mシャトルラン 評価実施時期: 7月, 1月
	健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「元氣アップカード」を月ごとに実施し、規則正しい生活習慣の定着 早寝・早起きの大切さ、メディアの使用時間等についての指導。 朝ごはんの大切さや食事のマナー等の食育の実施 	【満足度指標】 学校での指導や家庭での働きかけの結果、子ども達の生活習慣が向上している。	保護者アンケートの「早寝・早起き・朝ごはんが実行できている」という項目に肯定的に回答した保護者が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満		主担当:上田 評価方法: 保護者アンケート 評価実施時期: 7月, 1月
絆づくり・開かれた学校	地域の教育力の活用	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材を活用し、地域の特色を生かした授業実践の実施 	【努力指標】 生活科、総合的な学習、道徳などの授業やクラブ活動などで、地域の人材を活用する授業を行っている。	学期に1回以上行った学級が A: 3学級 B: 2学級 C: 1学級 D: 0学級		主担当:梶 評価方法:担任からの報告等 評価実施時期: 7月, 1月
	学校情報の積極的な公開と家庭・地域への適切な説明	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりや学級だよりの発行、ホームページの充実による保護者や地域方の学校経営方針や教育内容についての周知と理解の推進 	【満足度指標】 保護者が学校の教育方針や児童の様子が伝わっていると感じている。	保護者アンケートで「学校だより、学級だより、ホームページ等で児童の活動の様子が伝わりやすい。」に対し、肯定的な回答をした保護者の割合が、 A: 85%以上 B: 75%以上 C: 65%以上 D: 65%未満		主担当:三益 評価方法: 保護者アンケート 評価実施時期: 7月, 1月
人材育成・働き方改革	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 若手を中心となって、職員全体で学ぶ機会の設定 日常的に、かつ月1回短時間でも設定し、授業や行事に実践的に生きた研修の実施 夏季休業中の若手主催で研修会の実施 	【満足度指標】 若手教員早期育成プログラムにより、職員が指導力や・授業力が向上したと感じている。	教職員アンケートで「校内研修や若手プロで、指導力・授業力が向上した」に対し、肯定的な回答をした教職員の割合が、 A: 100% B: 85% C: 50% D: 25%未満		主担当:梶 評価方法: 実施回数 評価実施時期: 7月, 1月
	働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の平準化と担当の明確化を図り、意識改革の推進 業務改善のための会議の定期的開催 校務支援システムの活用による業務改善の推進 	【成果指標】 教職員が働き方改革を意識して効率的に業務を行い、時間外勤務時間を削減している。	定時退校日を月に3回(第3水曜日、最終金曜日、マイ定時退校日)とし、定時退校日を3回以上取得した割合が、 A: 150%以上 B: 130%以上 C: 100%以上 D: 100%未満		主担当:三益 評価方法: 勤務時間記録表、職員アンケート 評価実施時期: 7月, 1月